

「宿守屋 寿苑」など4件、 顕彰式を盛大に挙げる

冷凍空調設備の第36回優良省エネルギー設備顕彰式が、3月20日、東京・港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイにて業界関係者ら多数が出席して挙行された。

4設備を顕彰、省エネセンター最優秀賞に 「北陸エアコン」

今回の顕彰設備は新設設備部門2件、改修設備部門2件の合計4設備で、うち(一財)省エネルギーセンター最優秀賞に、北陸エアコン(株)が施工し、宿守屋 寿苑に導入した『冷温水空調システムを省エネルギー空冷空調機器への改修』を、奨励賞にシー・エイチ・シー・システム(株)と大久保産業(株)が施工し、大久保産業本社に導入した『CO₂センサー・コントローラーの導入による大幅な省エネ』と(株)静岡冷工が施工し、浦和中央青果市場卸売棟に導入した『4面壁パネル可動式冷蔵庫及び電動アコーディオンカーテン式冷蔵庫設備』を、特別賞に高砂熱学工業(株)が施工し、日本設備工業札幌支店に導入した『アルミ冷媒配管システムの開発』をそれぞれ顕彰した。

この度受賞された設備は、川瀬貴晴千葉大学グラウンドフェローを長とする特別委員会を2月18日に開催、慎重審議のうえ以上の4設備を選出した。

顕彰式には、小西洋展・経済産業省製造産業局産業機械課課長補佐、古賀正泰同係長、島昌英・(一財)省エネルギーセンター常務理事、香川澄・(公社)日本冷凍空調学会会長らが来賓として出席した。

定刻の午後3時30分、司会の白田良幸専務理事が開会を宣し、次いで鳥波益男会長が「当会の優良省エネルギー設備顕彰事業は、皆様のご協力により今年で36回目を迎えることができた。」と述べ、「日設連では、アメリカや台湾への最新技術の視察やセ

ミナーを通じて、ZEB、PEBといった省エネルギー技術の周知を図っている。また、特に省エネ対策が遅れている小規模ビルの省エネ化を促し、地球温暖化防止に寄与するとともに、会員へのビジネスチャンスの創出と業界の活性化を目指している。我が冷凍空調業界は、お客様への設備改善提案による省エネルギー強化が重要であり、中長期的にみれば、お客様への経営改善、経営支援につながるものと考えている。そして、多くの原子力発電所の運転が止まっている今日、より一層の省エネルギーの推進と環境負荷のない新エネルギーの利用促進、さらに確実なフロン回収、排出削減など環境負荷の低減は、設備産業に携わるわが業界に課せられた重要な使命である。本日ここに顕彰を受けられた皆様は、このような環境を十分理解し、困難な条件を克服され、日頃蓄積された技術を駆使され、省エネルギーに尽力されたご功績は多とするものであり、そのご努力に深甚なる敬意を表するものである。」

と式辞を述べた。

次いで、川瀬貴晴審査委員長(千葉大学グラウンドフェロー)による審査結果の発表を行い、受賞4設備の省エネルギー技術の特徴について講評を行った。

次に顕彰に移り、はじめに(一財)省エネルギーセンター最優秀賞の「宿守屋 寿苑」に導入した「冷温水空調システムを省エネルギー空冷空調機器への改修」の施工者、北陸エアコン(株)の山崎慎一顧問に顕彰状が、設備所有者の(株)宝仙閣の帽子山優代表取締役社長に感謝状が、同センターの島昌英常務理事から贈られた。



挨拶をする鳥波会長



最優秀賞 北陸エアコンの山崎顧問 (中央) 宝仙閣の帽子山社長 (右)



川瀬委員長による講評



受賞者代表謝辞を述べる山崎顧問

また、奨励賞、特別賞の施工者には顕彰状、それぞれ設備を導入していただいた設備所有者には感謝状を鳥波益男日設連会長より記念品と一緒に贈られた。

「これからも省エネ化に努力を」と 受賞者代表謝辞

賞状授与のあと、受賞者を代表して山崎慎一・北陸エアコン(株)・顧問から「日本にはまだまだ省エネ化されない建物があります。本来の目的であります省エネ化と地球温暖化防止にこれからも努力してまいりたい。」と受賞者代表者謝辞があった。

「省エネには会員の皆様の技術が貢献する」と祝辞

最後に、来賓を代表して香川澄・(公社)日本冷凍空調学会会長より、はじめに受賞された皆様へのお祝いを述べた後、「日設連の長きに亘るご尽力によ

り現代社会生活における冷凍空調機器は欠かせない物となっています。その分野益々広がってきています。昨夏の全国的な猛暑により冷凍空調機器の販売台数は著しく増加し、RAC、PACにしてもそれぞれ1000万台、100万台となるような予測も立てています。また、約15万室にもおよぶ公立小中学校教室への空調機器の設置等予定しているところであります。冷凍空調分野においては非常によい状況です。しかし、この良い状況を持続して冷凍空調機器が使い続けられて行くには、まだまだ解決すべき重要な課題が多くあります。省エネルギー対策もその一つであります。冷凍空調機器の使用エネルギー量は、年々増加しており国内で使用されるエネルギー量は、CO₂換算で7%です。今後も冷凍空調機器は広く使われてくるものだと思います。持続して使い続けられて行くには、日設連様が手掛けられていますサービス技能の向上、機器の保安、省エネ技術、冷媒漏れ対策などが上げられます。平成27年4月

にフロン排出抑制法が施行されましたが、その法律の対象となる製品からのフロン回収率は40%弱に留まっています。今後、新冷媒の開発と冷媒管理を促進する冷媒、そして、海外との冷蔵冷凍食品の品質向上とそのエネルギー向上を高めるグローバルワールドチェーン。冷凍空調機器を応用して再生エネルギーなどのエネルギーを効率よく貯蔵・管理するような冷凍空調によるエネルギー管理システムを主題として関係者が一丸となって活動することで、この分野の永久的な発展に結びつくものと堅く信じています。また、地球温暖化はじめ環境に関する諸問題、特に地球温暖化問題を解決するには国内のみならず国際的な協力、取組みが要求されます。今回表彰されました会員の皆様の技術は、これらに大きく貢献します。ここに尊敬と敬意を表したいと思います。」と祝辞があった。

「2030年、道半ばではあるが、エネルギー源ごとに対策を着実に推進」と記念講演

引き続いて、経済産業省資源エネルギー庁長官官房総務課戦略企画室統括係長の蟹江優氏による「エネルギー基本計画と今後の動向について」と題する記念講演が行われた。

同講演で、蟹江係長は、「昨年7月に策定した『エネルギー基本計画』は、3年に1度見直しを検討することになっており、国の政策の基本的な方向性を示すものである。資源エネルギー庁はじめ政府がエネルギー政策についてどのような課題認識をしているか、どういった方向性で取り組んで行こうとしているかという観点で説明していきたい。」と冒頭説明し、温室効果ガス26%削減という2030年に向けた対応と温室効果ガス80%削減を目指す2050年に向けた対応についてそれぞれ説明した。また、災害への対応とレジリエンス強化に向けた取組として、北



祝辞を述べる香川会長（日本冷凍空調学会）



記念講演での経産省 蟹江係長



パーティーで挨拶をする常副会長（左）、省エネルギーセンター 島常務理事



海道胆振東部地震のブラックアウトを経験に、電力、ガス、燃料のそれぞれのインフラを総点検し、対策強化を図っていくことを説明し、記念講演を締めくくった。

和やかに記念パーティー

顕彰式に引き続き、別室で記念パーティーが開かれた。同パーティーは、是常博副会長の「新聞の記事に、『CO₂排出量と企業の先行きの業績に関連性があるのでは』というもの。CO₂の排出量が多い企業ほど増収率が低くなるということ。ファンドの先行きはESG投資と言われている。特に最近では環境の“E”。CO₂をできるだけ減らそうという企業に投資対象となる。そのための私どもの役割・貢献が大事

かなと思います。」との挨拶ではじまった。

続いて、島昌英・(一財)省エネルギーセンター常務理事より「我々は『省エネ大賞』を行っているが、最近の傾向として、経営者がしっかりしている企業ほど省エネへの貢献が大きいと感じている。今回受賞件数は4件ですが、もっと増えれば、より受賞に値する極めて効果の高い省エネルギーというものが見えてくるのではないかと挨拶し、その後、同氏の乾杯のご発声で記念パーティーが始まった。

同パーティーは、受賞者、業界関係者、報道関係者など多数の方々が参加し、和やかに歓談、あちこちで情報交換をする姿が見られ、氏家慶一理事・総務委員長の中締めで盛会裡に終了した。

第36回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

平成31年2月18日 (一社)日本冷凍空調設備工業連合会

No.	部門	設備施工者	設備所有者〔設備建物名〕	テーマ
1	一般財団法人 省エネルギーセンター 最優秀賞 〔改修設備部門〕	北陸エアコン株式会社 (石川県金沢市)	株式会社 宝仙閣 〔宿守屋寿苑〕 (石川県七尾市)	冷温水空調システムを 省エネルギー空冷空調機器への改修
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔改修設備部門〕	シー・エイチ・シー・システム株式会社 (東京都世田谷区) 大久保産業株式会社 (徳島県徳島市)	大久保産業株式会社 〔本社〕 (徳島県徳島市)	CO ₂ センサー・コントローラーの導入 による大幅な省エネ
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔新設設備部門〕	株式会社 静岡冷工 (静岡市葵区)	浦和中央青果市場株式会社 〔卸売棟〕 (さいたま市桜区)	4面壁パネル可動式冷蔵庫設備及び 電動アコーディオンカーテン式冷蔵庫 設備
4	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 特別賞 〔新設設備部門〕	高砂熱学工業株式会社 (東京都新宿区)	日本設備工業株式会社 〔札幌支店〕 (札幌市豊平区)	アルミ冷媒配管システムの開発